

九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520821>

出版情報：九州大学新聞. 646, 1972-04-25. 九州大学新聞部
バージョン：
権利関係：



1 ～ 2 頁

欠 頁

序章

詩も政治

學、藝は紀元前幾萬年前の幾個人の思想の「具現」に
なり、藝は金貨、金を目的とするものではない。彼はまづこゝ
に於て要なきが、すべてが金に換へられ、金に換へられ、
自由になつて、カトリックの教義が金に換へられ、
主權止、とトドの學者が金に換へられ、
位置する彼は、理性の絶対性、普
通の法を問ひ、未だ幾つ
進歩の依拠もなく、ただ幾つ
ある。プラズマと並び助成ア
リ文明文明を云ふはレニム
の根柢を云ふべき筈はない。
金を出して一筆描きだしたもう
幾個人の「具現」の思想の「具現」に
なり、藝は金貨、金を目的とするものではない。彼はまづこゝ
に於て要なきが、すべてが金に換へられ、金に換へられ、
自由になつて、カトリックの教義が金に換へられ、
主權止、とトドの學者が金に換へられ、
位置する彼は、理性の絶対性、普
通の法を問ひ、未だ幾つ
進歩の依拠もなく、ただ幾つ
ある。プラズマと並び助成ア
リ文明文明を云ふはレニム
の根柢を云ふべき筈はない。
金を出して一筆描きだしたもう

無期スト中の
諸闘争の経過

[illegible]

更なる運動の
深化へ向けて

[illegible]

新書紹介
『谷中村滅亡史』

安田博史

[illegible]

六面より続く

全共闘運動―現実的生活過程に運動論がそれ自体いかに豊富な可
 灰田忠史(林工組)
 前田正夫(北三)

三苦陽児（農林省）
宗像 勇（新東興文局）

トの締括を完遂できなかった。
また、記事を載せることで免罪
き、更に単位制を粉砕し、実質的
に帝大を解体して行くものとして

芳野芳克（王子製紙）

水産学科

農学部では学費値上げ阻止、試験切れ抜けようとして来た。

西部落（築地魚市場）

3・3・5 ロックアウトル入
六年度卒業者にのみ教育原理
を履修し、習字・地理の指導を受ける
ことになり、
二年度より（六年度）
藤原俊子（富士紡織）
春日ノ（日本水産）

農業工学科

殊学生」は講義を受けさせないという状態であった。その中をかい

(農業土木学専修)

伊藤喜一（農林省）
上國次生（鹿児島県庁）

3・15 金九州沖其歸 結成
大会 批准賣交換粉碎闘争
つまり教育学部教授会は、「学商
「教育」といった衣を自らがなく
大久保博（日本技術開発
太田芳実（奥村組）

川村洋喜（フシタ工業）
栗水幸一（長崎県庁）

の現実の大学生という存在に追いつまねたのであった。その真摯に追求してきた。現行の教後、一名は無期停学、一名は退学

伴正二郎（日本工營）
神田 寛（農学部研究生）

広告のため非表示